

第三国研修事前調査報告書

—パキスタン，民間航空輸送—

昭和62年 1 月

国際協力事業団
研修事業部

| |
|-------|
| 研 管 |
| J R |
| 86-52 |

117
75
TAD

第三国研修事前調査報告書

—パキスタン，民間航空輸送—

JICA LIBRARY



1061196[0]

昭和62年 1 月

国際協力事業団
研修事業部

| | | |
|-----------|---------|-----------|
| 國際協力事業団 | | |
| 受入 月日 | '87.5.1 | 117 |
| 登録 No. | 16284 | 75 TAD |

目 次

| | |
|------------------------------------|----|
| はじめに | 1 |
| 写真集 | 2 |
| 第I章 調査団 | 4 |
| I-1 事前調査団派遣に至る経緯 | 4 |
| I-2 調査団の構成 | 4 |
| I-3 調査日程 | 5 |
| I-4 パキスタン側会議出席者リスト | 5 |
| 第II章 調査内容とその成果 | 7 |
| II-1 協議内容 | 7 |
| 1 研修形態 | 8 |
| 2 研修科目 タイトル | 8 |
| 3 研修時期及び期間 | 8 |
| 4 カリキュラム | 8 |
| 5 割当国 | 10 |
| 6 定 員 | 10 |
| 7 応募資格 | 10 |
| 8 研修施設 | 10 |
| 9 要請手続 | 10 |
| 10 専門家派遣 | 11 |
| 11 カウンターパート日本研修 | 11 |
| 12 研修に必要な経費 | 11 |
| II-2 P I Aトレーニングセンター概要 | 14 |
| 1 組織と業務概要 | 14 |
| 2 関連組織とその支援体制 | 17 |
| 3 研修指導能力 | 20 |
| 4 研修運営能力 | 21 |
| 第III章 団長所見 | 23 |
| 添付資料 Record of Discussion(案) | 24 |

は　じ　め　に

第三国研修とは、社会的、文化的、言語的に共通の基盤をもつ一定の開発途上地域に研修実施国を選定し、そこに当該地域内の途上国からの研修員を受入れて、より現地事情に適合した技術、知識の移転を図り、これにより、開発途上国間協力の推進に寄与し、将来的には、実施国が独自に研修員受入れ事業を実施できるよう協力することを目的としている。昭和49年度、タイのコラート養蚕研究訓練センターで初めて実施して以来、年々、第三国研修実施協力要請は増え続け、昭和60年度には15ヶ国で、22コースを実施するに至っている。

パキスタンにおける第三国研修については、後述の経緯を経て、事前調査のはこびとなり、昭和61年11月28日から12月6日までパキスタンに調査団を派遣した。本報告書はその協議内容、調査結果を取りまとめたものである。

本件調査の実施についてご協力を賜った外務省・運輸省並びに在外公館に深甚な謝意を表する次第である。

昭和62年1月

研修事業部長



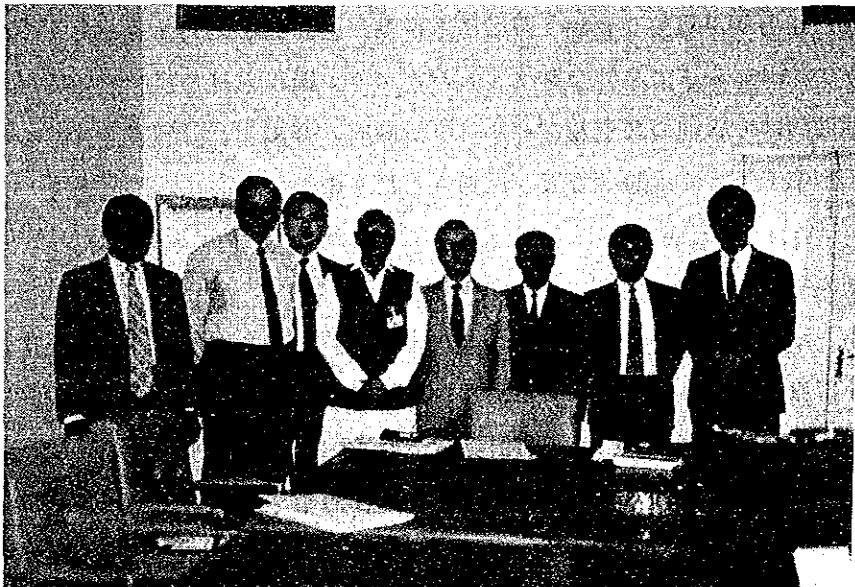
パキスタン経済省（技協窓口）のファヒーム
次官補を表敬訪問 於：イスラマバード



パキスタン計画省での協議 於：イスラマバード
左端：マリク計画省運輸通信課長
左から二人目：ユセフPIAトレーニングセンター校長
右端：小畑団長



PIA関係者との協議 於：カラチ
左端から3人目：ハフィースPIA企画部長



PIA関係者との協議を終えて

第 I 章 調 査 団

I - 1 事前調査団派遣に至る経緯

南西アジア地域において第三国研修の実績がなかったところ、同地域における我国の技術協力重点国であるパキスタン国にて、第三国研修計画の具体的資料を発掘するため、かねてより、JICAパキスタン事務所を通じ、その可能性に関し調査をすすめてきたところ、パキスタン航空（PIA）より、民間航空輸送に関する国際研修（研修項目：輸送需要予測、運行計画、輸送計画、経済分析、機材調達計画 etc）を企画しているので、その実施に関し、日本側の協力が得られないかとの打診があった旨、JICA事務所から連絡があった。これを受けて、我が方より昭和61年5月に、コンタクト調査団が派遣された。同調査団は先方政府（経済省及び計画省）ならびに実施機関であるPIA関係者と協議を重ね先方の意向を打診したところ、①第三国研修実施には極めて積極的である。②周辺諸国の民間航空会社より、航空会社の運営、営業、人事、航空行政等の分野にわたる研修を実施するよう要望されている。③各航空会社の中堅管理者層の人々を対象に約4週間程度の研修を予定したい等の感触を得た。一方PIAより社内的に今後了解を取付ける必要があることを前提に研修計画（案）を入手し、調査団より、日本側においてもPIA仮案の実施可能性につき、運輸省等関係機関と協議をしたい旨述べた。その後「パ」側より、第三国研修実施協力要請を受け、先方実施案につき関係省庁と協議の結果、研修内容が総花的であり、項目整理の必要があるとしながらも、基本的には協力可能との判断が得られ、我が方としては諸準備の都合もあり、昭和62年7月頃に本件第三国研修を実施する方針を固めた。

上記のような経緯ならびに方針を踏まえ、パキスタン国における民間航空輸送分野の第三国研修計画の実施に向けて事前の調査及びパキスタン政府、経済省、計画省をはじめ関係機関と詳細協議する為、本年11月に事前調査団が派遣されたものである。

I - 2 調査団の構成

| | | |
|-----|---------|-----------------------------|
| 団 長 | 小 畑 正比呂 | （総括）外務省経済協力局・技術協力課課長補佐 |
| 団 員 | 小田原 眞 一 | （研修計画）運輸省航空局・管制保安部管制課補佐官 |
| 団 員 | 田 村 隆 文 | （研修計画）運輸省国際運輸観光局国際航空課監理第三係長 |
| 団 員 | 杉 山 光 男 | （業務調整）国際協力事業団・研修第三課課長代理 |

I-3 調査日程

| 月 日 | 行 程 | 内 容 |
|-----------|---|---|
| 11月28日(金) | 成田 → カラチ | PK751便 |
| 11月29日(土) | カラチ → イスラマバード | PK 300便 大使館大部一等書記官、和田 JICA パキスタン事務所長と日程打合せ |
| 11月30日(日) | イスラマバード パキスタン経済省(技術窓口) JICAパキスタン事務所 パキスタン計画省 在「パ」日本国大使館 | - ファヒーム局長表敬 - 調査日程説明 - 第三国研修の概略制度説明 - 和田所長と日程打合せ - R/D案検討協議 先方、経済省、計画省、航空省、 PIAよりの担当者 表敬 |
| 12月1日(月) | イスラマバード → カラチ 在カラチ日本国総領事館 | PK 301便 - 板橋総領事表敬及び調査目的説明 |
| 12月2日(火) | PIA訓練センター | 協議(大千里副領事同席) - R/D案の内容 |
| 12月4日(木) | | - カリキュラム及び研修経費の内容 を協議 |
| 12月5日(金) | PIA本部 | - PIA社長MR.DAUDPOTA表敬 - PIA副社長MR.AZAZ ALI表敬 |
| 12月6日(土) | カラチ → 成田 | LH 640便 |

I-4 パキスタン側会議出席者リスト

1. Economic Affairs Division (経済省)
 - Mr. Muhammad Faheem (Deputy Director)
 - Mr. S.A.Hussain (経済省研修担当官)
2. Planning and Development Division (計画省)
 - Mr. Malik M.S.Khan (Chief of Transport and Communication)

3. Planning Commission
 - Mr. M. Sadig Swati (Chief of Transport and Communication)
4. Aviation Division (航空省)
 - Mr. Amyad Shaikh (Deputy Secretary)
5. Pakistan International Airlines (パキスタン航空)
 - Mr. Badshah Gul (General Manager of Economic Planning)
 - Mr. Hafecz-ud-Deen (Director Corporate Planning)
 - Mr. U. A. Khateeb (Senior Instructor-Operation)
6. P. I. A. Training Centre (パキスタン航空訓練センター)
 - Mr. S. Qaiser Yusoof (Principal)
 - Mr. Khawaja Shujauddin (Chief Instructor-Marketing)
 - Mr. Sirajuddin Shaikh (Senior Finance Instructor)

第Ⅱ章 調査内容とその成果

本調査団は、パキスタン側の技術協力の窓口機関である経済省に加え、当該訓練分野（民間航空輸送）の実施機関となる、PIA（パキスタン航空）との間で第三国研修実施の可能性について調査、協議する目的をもって派遣された。

その調査過程において、当方より持参したR/D素案（先方研修計画等に基づき作成した）の内容検討が行なわれたが、先方機関が実に協力的に対応してくれたこともあり、研修時期及び期間、割当国、等若干の項目について修正して欲しい旨の要望はあったものの大枠においては双方合意することが出来た。この様な成果が得られた原因としては、①在パキスタン国日本大使館、JICAパキスタン事務所を通じ、先方政府に本件第三国研修の目的等について事前に説明があったこと、②本件第三国研修の実施機関となるPIA（パキスタン航空）は、既に、パイロットをはじめとする広い範囲の部門において国内はもとより、南亜、中近東、アフリカ etc から研修員を受入れ訓練を実施していることもあり、研修に関し可成のノウハウを有していること。③「パ」側の技術協力窓口機関は今回の第三国研修が実現することによって、日・「パ」の技術協力関係の巾が大きくなり今後の、日・「パ」関係全般にとって好ましいと考えていること、等が挙げられる。

調査団訪問中の研修コースに関する先方との協議結果要旨は次のとおりである。

- 1) 実施機関：パキスタン航空（PIA）
- 2) テーマ：民間航空交通管制業務、国際航空法及び航空保安、航空企業の経営管理及び経理、等について研修を行なう。
- 3) 研修期間：昭和62年11月～昭和62年12月（4週間）
- 4) 定員：20名（うち「パ」側から4名参加）
- 5) 割当国：バングラデシュ、ブータン、ビルマ、エジプト、インド、モルディブ、ネパール、スリランカ、イラン、イラク、サウディアラビア、トルコ、クウェート、オマーン、バハレーン、ア首連、以上16ヶ国より16名を選考する。

Ⅱ-1 協議内容

パキスタン計画省（Planning and Development Division）において、同省マリク運輸通信課長はじめ、経済省、航空省、PIAよりの関係者出席のもとに行なわれた本件事前調査に係る協議は、冒頭、団長より本調査団訪「パ」目的を説明するとともに、第三国研修の制度、実施規模等について説明を行った。これに対し、マリク運輸通信課長から本件第三国実施の為の事前調査団の来訪を歓迎する旨の言葉があった。また、当該研修分野に関し、PIA（パキスタン航空）は、レベルは左程高度ではないが、アジア、アフリカ、中近東の各国から研修員受入実績と豊かな経験を有しており、この第三国研修をそれより高度な研修内容という位置付けでとらえてゆき

たいとし、PIAにおける本件研修実施に強い自信と熱意を示した。一方、調査団としても協議及び施設見学等を通じPIA側の運営能力、研修施設、訓練用機材とも、第三国研修実施になんら問題はなく、極めて妥当な実施機関であると判断した。については本件研修を実施するうえでの主たる協議事項について、その概略を報告することとする。

1 研修形態

(1) 当初「パ」側の研修期間に対する要請は、最初の週がTECHNICAL、2週がLEGAL、3週がECONOMICS、4週がFINANCE、5週がMANAGEMENT、6週がGENERAL、7週がグループスタディ、発表論文であった。我が方としては、LEGAL、TECHNICALとも要請に基づいて最初の週にLEGAL、2週にTECHNICALとしLEGALは午前中講義、午後グループスタディとし、TECHNICALもそれぞれ編成して提示したが、「パ」側から再度変更要望があった。その内容は、1講時1時間20分に短縮し、他の科目も含めて全体の研修期間を7週から4週に短縮し研修効果を図る、なぜならば今回の研修生の地理的配分及び研修生の資格等を考慮すると長時間講義は研修効果が上らないとのことであった。我が方としても即時に回答する事は避けたが、第三国研修の意義等を考慮し団内で調整した結果、異論はないとの結論に達したので、「パ」側の要請を受けるとし変更した。

(2) 第三国研修の目的は、発展途上国の中堅航空関係従事者の民間航空分野における技術の向上と新しい知識の普及を図ることである。

イスラマバードにおける会議において「パ」側は、TECHNICALの航空管制に係る講義内容が多いと反対意見を述べ、短縮するよう要請した。しかし、カラチのパキスタン訓練センターにおける調整会議の結果「パ」側は、日本側案(T-3、T-4、T-5及びT-6を日本側が講義すること)通り実施することで了解した。

日本側が「パ」側に強調した点は、航空交通管制業務が、国際民間航空機関(ICAO)の基準に準拠し、各国が実施している国際的な業務の一つであるため、当該業務の現状と技術を紹介することにより、研修生の知識及び技術の向上を図り、もって発展途上国の航空管制ひいては航空輸送の発展と航空の安全に寄与し、国際協調及び国際協力に貢献するところである。

2 研修科目・タイトル

「民間航空輸送に関する国際研修」(International Training Course in Civil Air Transport)とした。

3 研修時期及び期間

当初コース開催時期は7月～8月にかけて、期間は8週間程度ということであったが、7月、8月の夏季よりも気候的に暑さを凌ぎ易い11月中旬～12月にかけて、期間は4週間で開催することとした。

4 カリキュラム(巻末英文カリキュラム参照)

1987年実施の研修プログラムは、次の通りである。

- (1) LEGALは、日本側提案通り、L-1、L-2、XL-2及びL-4を日本側が担当する。
- (2) TECHNICALは、日本側提案通り、T-1及びT-2を「パ」側が担当し、T-3、T-4、T-5及びT-6を日本側が担当する。
- (3) L-3、ECONOMICS、FINANCE、MANAGEMENT及びGENERALは「パ」側が担当する。
- (4) 「パ」側は、第三国研修の目的及び内容について説明する。
- (5) 研修生は、研修科目について各国の実情、ニーズ等に関し意見を発表する。
- (6) 「パ」側及び日本側専門家は、次の研修科目について講義する。

① 日本側専門家 (LEGAL、TECHNICAL)

L-1、L-2の概要

- ① 航空輸送協定 ② シカゴ条約

多数国間協定、国際航空通過業務、二国間協定、行政許可による航空業務カボタージュ、バミューダ協定、輸送力に関する決議、航空業務についての原則、我が国の航空協定、航空企業間における運輸協定

XL-2、L-4の概要

- ① 民間航空に対する不法妨害 ② 事故調査と事故による損害のための責任の法的地見地、航空の安全のための国際標準、国の標準、セキュリティシステム、航空機事故調査。

T-3の概要

航空交通業務の歴史、航空交通管制業務及び飛行援助業務(飛行情報業務、警急業務を含む)

T-4の概要

飛行場管制業務、進入管制業務

T-5の概要

航空路管制業務、航空交通警告業務

T-6の概要

空域の構成、航空路と飛行方式、航空情報業務

② パ側専門家 (TECHNICAL、ECONOMICS、FINANCE、MANAGEMENT、GENERAL)

TECHNICAL-1及び2の概要

飛行原理、航空力学、飛行機の型式、性能、速度、飛行管理方式、航空電子工学、航行援助施設

ECONOMICSの概要

航空輸送の企画と予測、コストと要素、航空機の選定、フリートプランニング、技術(メンテナンス、運用)に係る経済的予測、飛行場運営

FINANCEの概要

航空機選定とフリートプランニングの財務的評価の予測、商業航空機財務、航空会社と飛行場の財務、航空会社の予算、会計、財政報告と保険

MANAGEMENTの概要

航空会社の組織と人的やりくり、運営に係る組織構成、教育と訓練、航空会社の収入管理に係る代価、航空会社業務の市場戦略、空港業務と運行のための管理

GENERALの概要

航空輸送の歴史と最近の発展、過去と現在の航空機の機種、現在の航空産業、航空産業の自動化、航空輸送における将来の発展

5. 割当国

我が方より SAARC 諸国を中心に提案したところ、先方よりガルフ諸国を加えてほしいこと、及び「パ」国内より 4 名出席させたいとして結局次の 16 カ国より各 1 名と「パ」より 4 名の計 20 名となった。なお「パ」側は、割当は 16 カ国については追って外務省より一応の了承を取り付ける必要がある由。

バングラディッシュ、ブータン、ビルマ、インド、モルディブ、ネパール、スリランカ、エジプト、イラン、イラク、サウディアラビア、トルコ、クウェート、オマーン、バハレーン、ア首連。

6. 定員

上述のように、定員は、本件第三国研修実施国である「パ」より 4 名と割当国 16 カ国より各 1 名の計 20 名となった。

7. 応募資格

- (1) 所定の手続に基づく当該国政府の推薦者であること
- (2) 高等学校卒業あるいは同程度の学力を有すること
- (3) 民間航空輸送分野において 5 年以上の実務経験を有すること
- (4) 当該分野における中堅管理職レベルないしは上級管理職の下位の職にある者
- (5) 原則的に 40 歳以下であること
- (6) 英語により話しかつ書取り能力を有すること
- (7) 身心ともに健全な者であること
- (8) 研修終了後もそれぞれの国で当該研修分野の職に引続き従事すること

8. 研修施設

研修施設はカラチにあるパキスタン航空訓練センター (Pakistan International Airlines Training Centre) にて、同センターの研修施設を使用し実施することとなった。

9. 要請手続

- (1) 要請書は、パキスタン政府の外交ルートを通じて研修開始 3 カ月前までにパキスタン政府

に接すること。

(2) パキスタン政府は、研修開始1カ月前までに受入れ回答を割当国に伝達すること。

10. 専門家派遣

本件第三国研修コースには、我が方より「民間航空」分野の技術（主に管制）専門家及び法的側面の専門家を各々1名派遣し講義を受けもつこととなった。

11. カウンターパート日本研修

研修がより円滑に実施されることを目的として、我が方としては、昭和61年度よりカウンターパートを受け入れることを検討中である。

12. 研修に必要な経費

本件第三国研修実施にあたっては、

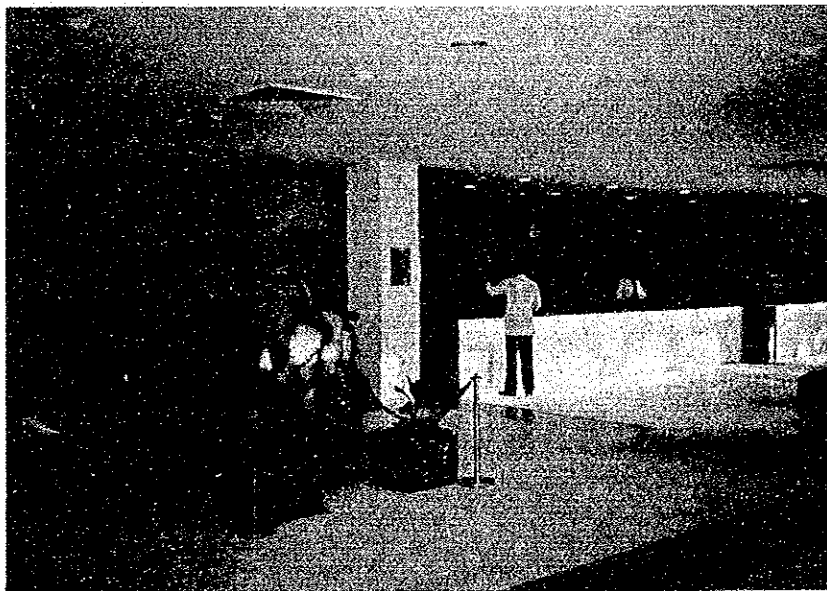
(1) 受入諸費

① 航空費

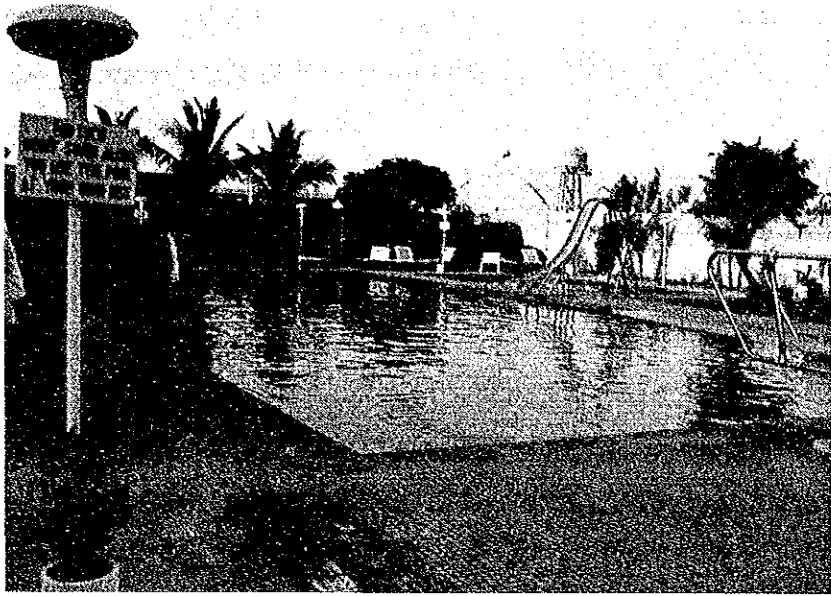
参加国とパキスタン国カラチ間の航空賃をアベレージ概算をもって計上した。

② 滞在費

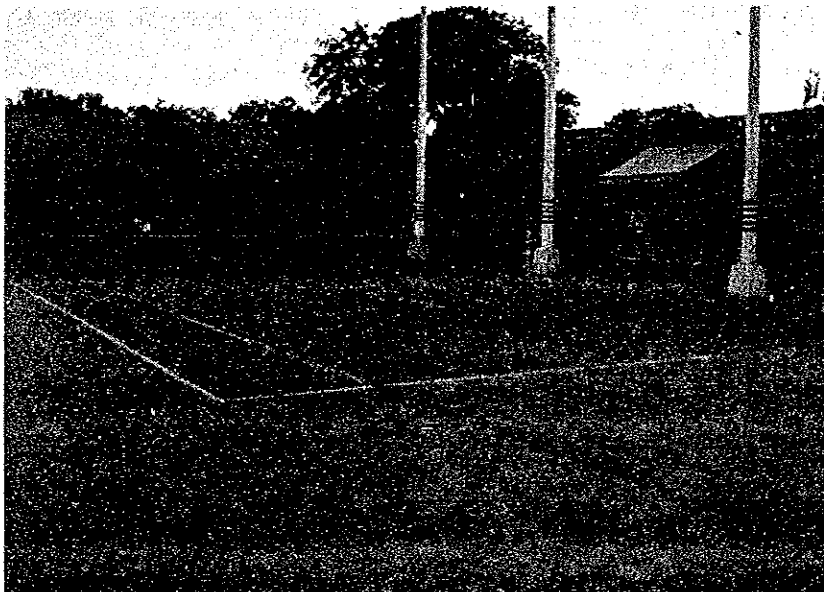
当該研修への参加者は各国民間航空会社の中間管理職レベルを予定していることもあり、宿泊施設としてカラチ市内の中流ホテルが適当と考え物件を捜した。たまたま、研修実施機関より徒歩5分の所に格好の中流ホテル（Hotel Midway House）があり、プール、テニスコート、卓球場等の厚生施設も完備しており、これを宿泊施設と決定した。尚一泊の料金として、実費US\$31を計上した。



ホテル ロビー



ホテルのプール



ホテルのテニスコート

③ 日 当

研修実施機関の周辺には、外国人向けの適当なレストランが無い為、上記②のホテル内レストランを利用せざるを得ない。食費として朝食US\$2、昼食US\$6夕食US\$8合計US\$16に諸雑費を含めUS\$23を計上した。



ホテル内食堂

④ 医療費

パキスタンには日本の様な疾病保険制度がない為、当該経費は計上出来なかった。なお、軽度の病気については、研修実施機関内に医療施設があり、そこで無料で受診、治療してもらうことになった。

(2) 研修経費

① 外部講師謝金

研修プログラム中、外部講師は1名必要であり、その者の旅費、日当、宿泊、講師謝金をそれぞれ計上した。

② 交通費

研修期間中3ヶ所の施設を研修視察することとなり、これに係るマイクロバスの備上費を計上した。

③ 資材費

研修に必要な消耗品購入費を計上した。

④ テキスト作成、購入費

ICAO、IATA発行のテキストを使用することとなるが、これは、研修員に渡すものではなく、各テキストから必要箇所を抜すいコピーのうえ、各研修員に渡すものであり、当該経費はコース2年目以降は必要なくなることを確認のうえ、初年度のみとして計上した。

⑤ 備人費

PIA側は、コースコーディネーター(1名)及びタイピスト(2名)の備上費を要求してきたが、当方としては、PIA側の現有スタッフで対応して欲しい旨再三説明した。しかしPIA側としては現有スタッフでは人的余裕がない上、その為の予算的措置も出来ないとの説明を受けた。当方としては、これら人材の確保はコースを円滑に運営する上で不可欠なものと考え、それに係る備人費を計上した。なお、当該コーディネーターは、PIA退職者で、現在は、大学の講師をしている。人格、見識上すぐれており、コーディネーターとしては最適者と思われる。

⑥ 雑費

開閉講式費用、G.I及び修了証書の印刷代を計上した。

以上研修実施に必要な経費として計上したが、PIAとの協議においては、当該積算額はJICA本部の予算的制約、その他のコースとのバランスとの関係で変更されることもあり得る旨を説明、先方の了解を取付けた。

II-2 PIAトレーニングセンター概要

1. 組織と業務概要

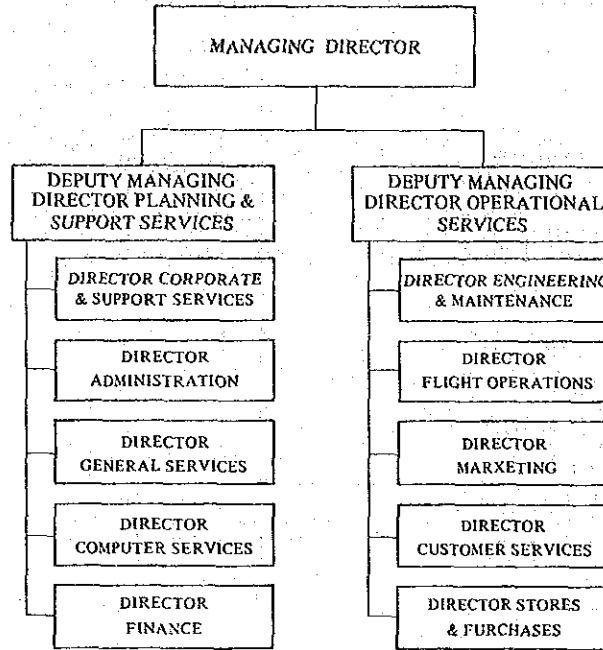
パキスタン航空トレーニングセンターは、1960年に設立された運航部門、経営部門について、訓練及び教育を実施し国内だけではなく、南西アジア、中近東、アフリカ及びヨーロッパからも研修生を受入れ、その数は現在、3,000人を超え、パキスタン航空の技術水準は、開発途上国の航空会社としては極めて高く評価されている。PIAは国策会社で、国内及び国際航空路線を独占し、旅客収入及び路線の増加により高度成長に成功した。



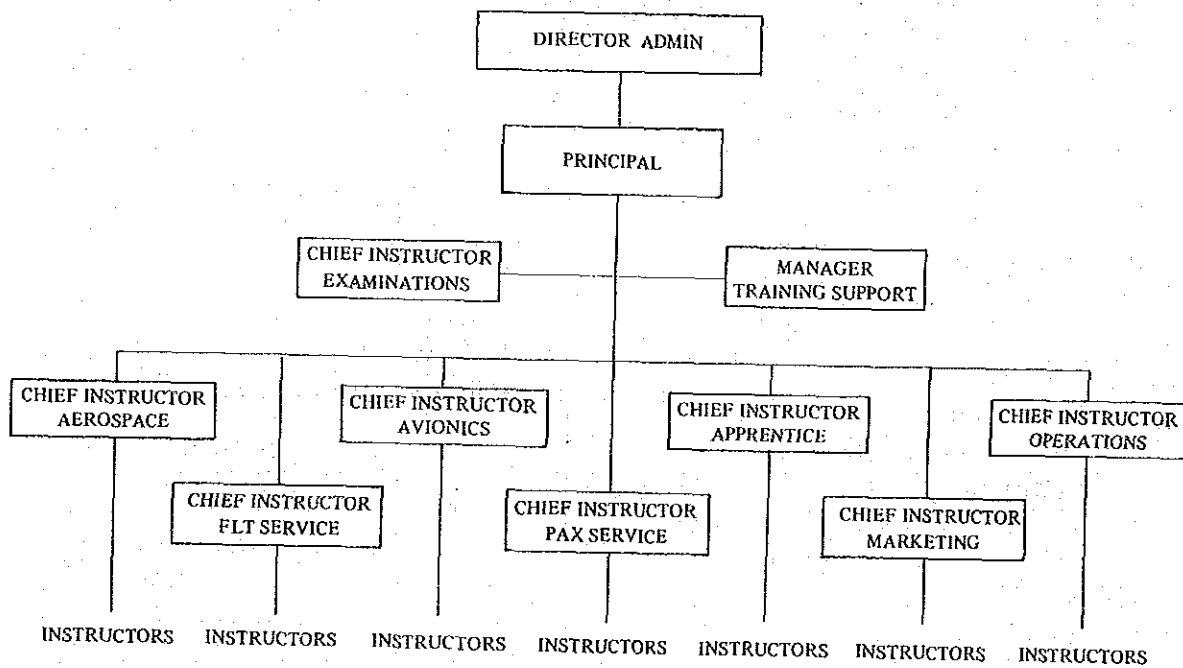
トレーニングセンター正面入口

(1) PIA組織図

PAKISTAN INTERNATIONAL AIRLINE.
 ORGANIZATION ORDER NO. 59/85



(2) PIA研修センター組織図



(3) 研修センター利用実績表

UTILISATION OF TRAINING FACILITIES BY OUTSIDE PARTIES
(FOREIGN)
FROM 1ST JULY 1976 TO 30TH JUNE 1986

| S. No. | | Pilots/Flight Engineers | Maintenance Overhaul | Others | Total |
|--------|--|-------------------------|----------------------|--------|-------|
| 1 | ALIA JORDANIAN AIRLINES | 10 | 95 | 10 | 115 |
| 2 | SRI LANKA | 17 | 12 | 24 | 53 |
| 3 | ALYEMDA SOUTH YEMEN | 56 | 126 | 86 | 268 |
| 4 | AIR TANZANIA | — | 8 | 14 | 22 |
| 5 | AIR MALTA | 181 | 188 | 227 | 546 |
| 6 | BAKHIAN AFGHAN AIRLINES | — | 8 | — | 8 |
| 7 | BANGLA-DESH BIMAN | 9 | 12 | — | 21 |
| 8 | CIVIL AVIATION ADMINISTRATION OF CHINA | 22 | 115 | 30 | 167 |
| 9 | EAST AFRICAN AIRWAYS | 23 | 13 | — | 36 |
| 10 | INDONESIAN AIRFORCE | 19 | 61 | — | 80 |
| 11 | IRAQI AIRWAYS | 29 | 112 | 75 | 216 |
| 12 | IRAN AIR | 1 | 119 | — | 120 |
| 13 | IRAN PLANT PROTECTION DEPARTMENT | 20 | 5 | 10 | 35 |
| 14 | JORDANIAN D.G.C.A. | — | 1 | 1 | 2 |
| 15 | KENYA AIRWAYS | — | 3 | — | 3 |
| 16 | KUWAIT AIRWAYS | — | 44 | — | 44 |
| 17 | LIBYAN ABAB AIRLINES | 57 | 71 | 116 | 244 |
| 18 | MALAYSIAN SINGAPOR AIRLINES | 2 | 5 | — | 7 |
| 19 | NIGERIAN AIRWAYS | 5 | — | 4 | 9 |
| 20 | PALESTINELIBERATION ORGANISATION | 31 | 24 | — | 55 |
| 21 | PEOPLES REPUBLIC OF KOREA | — | — | 25 | 25 |
| 22 | PRESIDENTIAL AIRCRAFT TANZANIA | — | — | 10 | 10 |
| 23 | ROYAL NEPAL AIRWAYS CORPORATION | 45 | 150 | 180 | 375 |
| 24 | SAUDI ARAB AIRLINES | — | — | 14 | 14 |
| 25 | SOMALI AIRLINES | 10 | 96 | 25 | 131 |
| 26 | TURKISH AIRLINES | — | 49 | — | 49 |
| 27 | UGANDA AIRLINES | — | 10 | 2 | 12 |
| 28 | UNION OF BURMAH AIRWAYS | 9 | — | 7 | 16 |
| 29 | SUDAN AIRWAYS | 5 | 117 | 51 | 173 |
| 30 | YEMEN AIRLINES (NORTH YEMEN) | 19 | 12 | — | 31 |
| 31 | YUGOSLAVIAN AIRLINES | 25 | 88 | 1 | 114 |
| 32 | GENERAL SALES A ENT | — | — | 139 | 139 |
| 33 | SHAHI NEPAL SAINIK BIMAN SEWA | — | 8 | 8 | 16 |
| 34 | ROYAL SAUDI NAVAL CADETS | 94 | — | — | 94 |
| 35 | SYRIAN ARAB AIRLINES | — | — | 12 | 12 |
| 36 | EMIRATES AIRLINES | — | — | 138 | 138 |
| | T O T A L | 689 | 1,502 | 1,209 | 3,400 |

UTILISATION OF TRAINING FACILITIES BY OUTSIDE PARTIES
LOCAL
FROM 1ST JULY 1976 TO 30TH JUNE 1986

| No. | AGENCIES | PILOTS | OTHER STAFF | TOTAL |
|-----|------------------------------------|--------|-------------|-------|
| 1 | AEROCLUBS OF PAKISTAN | 75 | 66 | 141 |
| 2 | AIRPORT HEALTH SERVICE | — | 15 | 15 |
| 3 | AIRPORT SECURITY FORCE | — | 587 | 587 |
| 4 | BUREAU OF EMIGRATION | — | 3,703 | 3,703 |
| 5 | CIVIL AVIATION AUTHORITY | — | 14 | 14 |
| 6 | HEAVY MECHANICAL COMPLEX | — | 16 | 16 |
| 7 | HOTEL MIDWAY HOUSE | — | 50 | 50 |
| 8 | IMMIGRATION POLICE | — | 21 | 21 |
| 9 | KARACHI NUCLEAR POWER PLANT | — | 05 | 05 |
| 10 | MET. DEPARTMENT | — | 02 | 02 |
| 11 | PAKISTAN AIR FORCE | 15 | 88 | 103 |
| 12 | PAKISTAN ARMY | — | 33 | 33 |
| 13 | PAKISTAN NAVY | 20 | 195 | 215 |
| 14 | PAKISTAN CUSTOMS | — | 104 | 104 |
| 15 | PLANT PROTECTION DEPARTMENT | 29 | 23 | 52 |
| 16 | SHAHJHAN AIRPORT SERVICES | — | 05 | 05 |
| 17 | SUI GAS TRANSMISSION CO | — | 16 | 16 |
| 18 | TOURISM DEPARTMENT | — | 40 | 40 |
| 19 | TRAVEL AGENCIES & PRIVATE STUDENTS | 1 | 1,952 | 1,953 |
| 20 | PAKISTAN PETROLEUM LTD | — | 23 | 23 |
| | TOTAL | 140 | 6,958 | 7,098 |

(4) 研修コース名

- AEROSPACE TRAINING COURSES
- AVIONICS TRAINING COURSES
- APPRENTICESHIP TRAINING COURSES
- OPERATIONS TRAINING COURSE
- FLIGHT SERVICE TRAINING COURSES
- PASSENGER SERVICE TRAINING COURSES
- MARKETING TRAINING COURSES
- MISCELLANEOUS TRAINING COURSES

2. 関連組織とその支援体制

(1) PIAの子会社

- 1 PIA Shaver Poultry Breeding Farms Limited

2. Midway House Limited (Residential Hotel)
3. International Advertising Limited
4. PIA-Hotels Limited
5. Skyrooms Shops Limited
6. Duty Free Shops Limited
7. PIA Recruiting Agency

(2) PIA 関連会社

(Overseas)

1. PIA Investments Limited
2. Minhal Incorporated

(Pakistan)

1. Pakistan Services Limited
2. Tourism Promotion Services (Pakistan) Limited
3. Pakistan Tourism Development Corporation

(3) PIA 海外支店

| Countries | Towns | IATA codes | Served since |
|--------------------------|------------|------------|--------------|
| Abu Dhabi | Abu Dhabi | AUH | 1971 |
| Bahrain | Bahrain | BAH | 1967 |
| Bangladesh | Dhaka | DAC | 1976 |
| China | Beijing | PEK | 1973 |
| Denmark | Copenhagen | CPH | 1974 |
| Dubai | +Dubai | DXB | 1967 |
| Egypt | Cairo | CAI | 1955 |
| Federal Republic Germany | +Frankfurt | FRA | 1962 |
| France | +Paris | PAR | 1966 |
| Greece | Athens | ATH | 1972 |
| India | Delhi | DEL | 1955 |
| | Bombay | BOM | 1955 |
| Iran | Tehran | THR | 1958 |
| Iraq | Baghdad | BGW | 1957 |
| Italy | Rome | ROM | 1955 |
| Japan | Tokyo | TYO | 1969 |

| | | | |
|------------------------------------|--------------|-----|------|
| Jordan | Amman | AMM | 1977 |
| Kenya | Nairobi | NBO | 1967 |
| Kuwait | Kuwait | KWI | 1966 |
| Libya | Tripoli | TIP | 1971 |
| Malaysia | Kuala Lumpur | KUL | 1972 |
| Nepal | Kathmandu | KTM | 1983 |
| Netheriands | Amsterdam | AMS | 1970 |
| Oman | Muscat | MCT | 1973 |
| Philippines | Manila | MNL | 1969 |
| Oatar | Doha | DOH | 1967 |
| Saudi Arabia | Jeddah | JED | 1967 |
| | Dhahran | DHA | 1965 |
| | Riyadh | RUH | 1984 |
| Singapore | Singappre | SIN | 1972 |
| Sri Lanka | Colombo | CMB | 1972 |
| Syria | Damascus | DAM | 1958 |
| Thailand | Bangkok | BKK | 1967 |
| Turkey | Istanbul | IST | 1966 |
| Union of Soviet Socialist Republic | Moscow | MOS | 1985 |
| United Kingdom | London | LON | 1955 |
| United States of America | New York | NYC | 1961 |
| Yemen Arab Republic | Sana'a | SAH | 1985 |

+Freigdter Service also.

(4) P I A 国内支店

| Towns | IATA Codes |
|------------|---------------|
| Badin | THD |
| Bahawalpur | BHV |
| Bannu | BNP |
| Chitral | CJL |
| D. I. Khan | DSK |
| Faisalabad | LYP |
| Gilgit | GIL |

| | |
|--------------|-----|
| Gwadar | GWD |
| Hyderabad | HDD |
| Islamabad | ISB |
| Jacobabad | JAG |
| Jiwani | JIW |
| Karachi | KHI |
| Kohat | OHT |
| Lahore | LHE |
| Mianwali | MWD |
| Moenjodaro | MJD |
| Multan | MUX |
| Nawabshah | WNS |
| Panjgur | PJG |
| Pasni | PSI |
| Peshawar | PEW |
| Quetta | UET |
| Saidu Sharif | SDT |
| Sargodha | BIW |
| Sibi | SBQ |
| Skardu | KDU |
| Sui | SUL |
| Sukkur | SKZ |
| Turbat | TUK |
| Zhob | PZH |

Stations :

- | | |
|----------------------|----|
| 1. On-line Stations | 69 |
| 2. Off-line Stations | 39 |

3. 研修指導能力

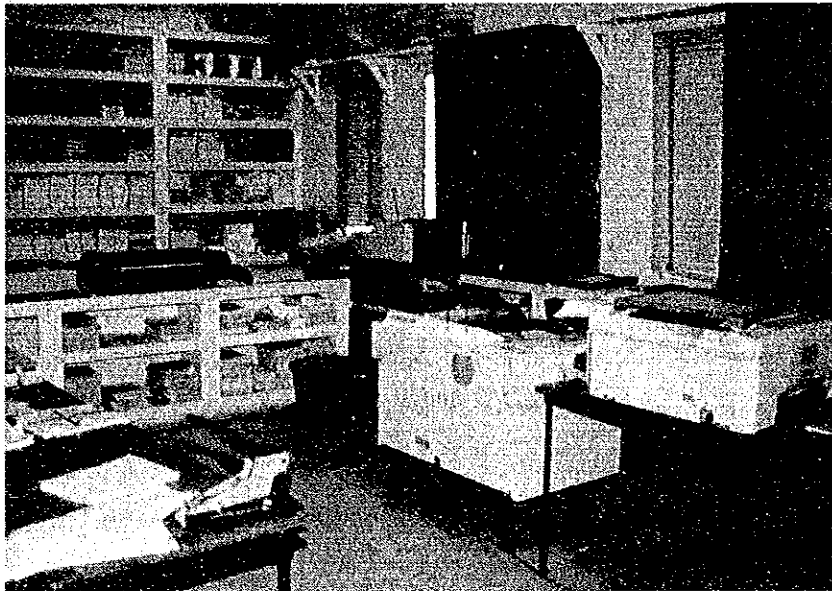
P I A 研修センターの講師数は、73名であり、その他事務用員 37名を加えて P I A 研修センター総数 110名となる。

第三国研修に参加予定講師は、14名であり、そのスタッフの経歴は、大学卒は勿論、カラチ大学教授、旧航空局それに現役の当該研修センターで外国人相手に長年教えているベテランスタッフが揃っている。

4. 研修運営能力（建物、施設、機材等）

第三国研修に参加予定スタッフ数は、揃っている。

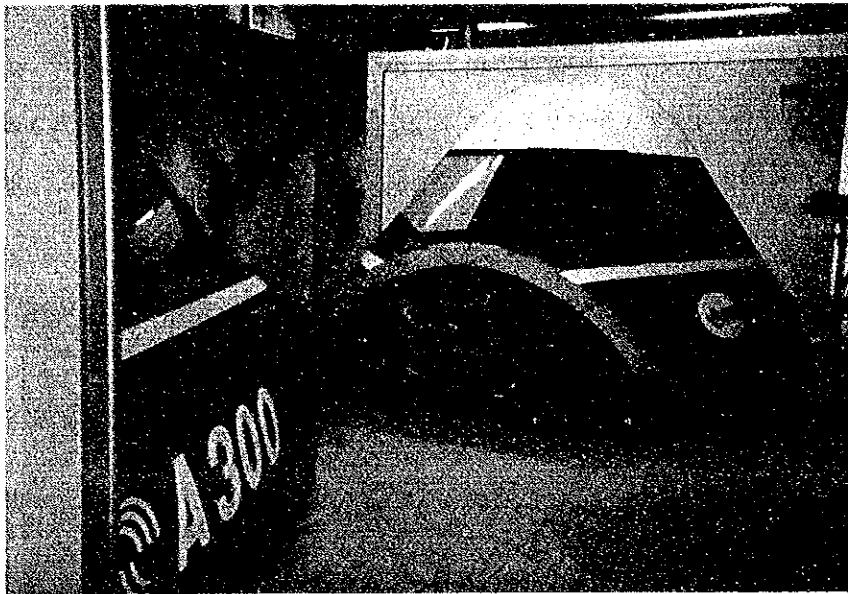
教科書は、ICAO、IATA等のリストもあり、写真のとおり印刷室も整備されていることから、準備出来る状態にあると思われる。



センター内印刷室

OHP、スライドプロジェクター、16 mmフィルム映写機等の教材も整備されており、利用出来る状態にある。

三階たでの当該研修センターは、48の教室、セミナー用教室2ヶ所、語学教室等研修コースに合った教室がある。又B 747及びA 300のシュミレーターも設置されており、フライトクルーの研修が実施されている。以上により研修施設、機材、教材等については、十分対応出来ると判断される。



B 747 及び A 300 シュミレーター



セミナー用教室

Ⅲ 団 長 所 見

我が国は、現在 15 カ国で 30 コース以上の第三国研修を実施しているところ、その多くは、東南アジア、中南米であり、南西アジア地域では行っていなかったところ、他方、南西アジア諸国は共通点が多く、かつ最近の SAARC の設立により各国間の協力の気運が高まりつつあるとの情勢から判断して、同地域における第三国研修の必要性が認識されていた。上記認識から、61 年 5 月同地域のパキスタン、インドの 2 カ国に調査ミッションを派遣した結果、パキスタンにおいては、カラチの P I A (パキスタン航空) を実施機関とした「民間航空」分野における第三国研修が適当との結論に達した。その理由として、

- (1) パキスタン政府及び P I A 自身が本件第三国研修に熱心であること。
- (2) P I A がカラチに Training Centre を有し、同センター自身が 1960 年の設立以来、国内だけでなく南アジア、中近東、アフリカのみならずヨーロッパ諸国より 3,000 人以上の研修員を受け入れ、研修実績を十分有していること、が重要である。

(1) の「パ」側の熱意については、本件調査団が 11 月 30 日経済省の Fahoem 局長を表敬した際、同局長は、本件研修の重要性を充分認識し、可能な限りの協力を約束し、また 12 月 4 日に P I A の Daudpota 社長及び Azaz Ali 副社長を表敬した際も両名とも強い関心と大きな期待を表明していたことからもうかがえる。

また(2)の P I A の Training Centre については、その設備は、ボーイング 747 及び A 300 のシミュレーションを有し、又、センター人員は 110 名(講師数 73 名、事務用員 37 名)を擁しており、前述のように実績も充分有していることからその実施能力は明らかである。

他方、我が国は、本件第三国研修に管制分野及び法律分野の専門家を 2 名派遣するところ、管制技術については、我が国はその世界最先端技術を有し、最も得意とする分野の技術移転が可能となり、また、法律分野については、頭下の最大の関心事であるハイジャック問題の法的側面の研修を通じて参加国にその重要性を認識させることが可能となり、大きな意義が期待される。

添付資料

Record of Discussion 要素

RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN THE JAPANESE CONSULTATION TEAM AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF PAKISTAN
ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME

The Japanese Consultation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by _____ visited _____ from _____ to _____, _____ for the purpose of formulating the training course in the field of civil air transport under the Third Country Training Programme of JICA.

During its stay in Pakistan, the Team had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of Pakistan with respect to the framework of the above mentioned training course and the desirable measures to be taken by both Governments to ensure its successful operation.

As a result of the discussions, both parties agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the documents attached hereto.

ATTACHED DOCUMENT

The Government of Japan and the Government of Pakistan will cooperate with each other in organizing the training course in the field of civil air transport at Pakistan International Airlines Training Center (hereinafter referred to as "the Course") under the Third Country Training Programme of JICA .

The Government of Pakistan will conduct the Course with the support of the technical cooperation scheme of the Government of Japan. The Course will be held once a year from the Japanese fiscal year of 1987 to 1991, subject to an annual consultation between both Governments.

The Course will be operated in accordance with the followings:

1. TITLE

The Course will be entitled International Training Course in Civil Air Transport.

2. PURPOSE

The purpose of the Course is to provide participants from developing countries with opportunities to refresh and upgrade relevant techniques and knowledge in the field of civil air transport.

3. OBJECTIVE

At the end of the Course, the participants are expected to be able to:

- 3- 1 understand the main aspects of civil air transport and their role within the set up of Civil Aviation Authority or within the management of Airline of their own countries,
- 3- 2 make more efficient performance of their daily functions and responsibilities,
- 3- 3 make analytical consideration to all problems or difficult situations encountered by their institutions.

4. DURATION

The first Course will be held for eight weeks from November to December, 1987.

5. CURRICULUM

The tentative curriculum of the Course is attached as ANNEX I.

6. INVITED COUNTRIES

The Governments of the following countries will be invited to apply for the Course by nominating their applicant(s):

Bahrain, Bangladesh, Bhutan, Burma, Egypt, India, Iran, Iraq, Kuwait, Maldives, Nepal, Oman, Sri Lanka, Saudi Arabia, Turkey, United Arab Emirates.

7. NUMBER OF PARTICIPANTS

The number of participants from the invited countries shall not exceed sixteen (16) in total. And the number of participants from Pakistan shall not exceed four (4).

8. QUALIFICATIONS FOR APPLICANTS

Applicants for the Course are:

- 8- 1 To be nominated by their respective Governments in accordance with the procedure mentioned in 10-1 below,
- 8- 2 To be high-school graduates or to have the equivalent academic background,
- 8- 3 To have the practical experience of more than five (5) years, in the field of civil air transport,
- 8- 4 To be engaged in service in the said field at the middle management level or at the lower echelons of the senior management.
- 8- 5 To be under forty (40) years of age in principle,
- 8- 6 To have a good command of spoken and written English,
- 8- 7 To be in good health to complete the Course, and

8- 8 To be expected to continue their respective occupations in the course of civil air transport service for a reasonable period upon their return back home

9. FACILITIES AND INSTITUTIONS

Pakistan International Airlines Training Center (hereinafter referred to as "PIA Training Center")

10. PROCEDURE OF APPLICATION

10- 1 The Governments applying for the Course shall forward five (5) copies of the prescribed application form for each nominee to the Government of Pakistan through their diplomatic channels not later than three months before the commencement of Course.

10- 2 The Government of Pakistan will inform the applying governments whether or not the applicant(s) is/are accepted to the Course not later than one month before the commencement of the Course.

11. UNDERTAKING OF GOVERNMENT OF JAPAN AND GOVERNMENT OF PAKISTAN

In organizing and implementing the Course in compliance with the Schedule of Course Operation attached in ANNEX II, both Governments will take the following measures in accordance with the relevant laws and regulations in force in each country.

11- 1 The Government of Pakistan.

11- 1-1 The Government of Pakistan

- (1) To forward the General Information brochures (G.I.) of the Course to the Governments of invited countries through its diplomatic channels,
- (2) To receive application forms and forward them to PIA Training Center, and
- (3) To notify the respective Governments through its diplomatic channels of the results of selection of participants.

11- 1-2 PIA Training Center

- (1) To formulate the curriculum based on ANNEX I,
- (2) To draft and print the G.I.,
- (3) To assign an adequate number of its staff as lecturers/ instructors for the Course,
- (4) To provide its training facilities and equipment for the Course,
- (5) To select participants in the Course, and to inform the result of the selection to the Government of Pakistan and the Office of JICA in Pakistan (hereinafter referred to as "the JICA Office"),
- (6) To arrange accommodations for participants,
- (7) To arrange international air tickets for participants from the invited countries and to meet and see them off at the airport,
- (8) To arrange domestic study tour(s) to be included in the Course,
- (9) To Provide necessary support for conducting the Course excluding the expenses financed by the Government of Japan
- (10) To issue certificates to the participants who successfully complete the Course at the end of the Course,
- (11) To submit a course report and a statement of expenditures to the JICA Office, and
- (12) To coordinate any matter related to the Course.

11- 2 The Government of Japan

- (1) To dispatch, following the regular procedures of its technical cooperation scheme, short-term experts who delivers lectures on such subjects as mentioned in ANNEX I.
- (2) To bear the following expenses for the Course through JICA as the Tentative Estimate of Expenses attached in ANNEX III,
 - a) Such expenses relevant to participants from the invited countries as international economy-class flight fare, accomodation, per-diem and medical insurance premiums.
 - b) Such expenses relevant to PIA Training Center as honoraria for externallecures, arrangement of meeting and study tour(s), teaching aids, expendable supplies, copies and reprints, and secretarial services.

12. PROCEDURE OF REMITTANCE AND EXPENDITURE

The remittance and expenditure of the funds for the expenses to be borne by JICA will be arranged in accordance with the following procedure.

- 12- 1 PIA Training Center will open a bank account in Pakistan to accept the fund remitted by JICA and inform the JICA Office of the name of bank, the account code number and the name of the account holder.
- 12- 2 PIA Training Center will submit to the JICA Office the bill of estimate for expenses to be borne by JICA not later than sixty (60) days before the opening of the Course.
- 12- 3 JICA will assess the bill of estimate and remit the assessed amount of expenses to the account mentioned in 12-2 above within thirty (30) days after the receipt of the bill of estimate.

12- 4 PIA Training Center will submit to the JICA Office a statement of expenditures within thirty (30) days after termination of the Course.

12- 5 In case any amount of the fund remitted by JICA remains unspent, PIA Training Center will reimburse the unspent amount to JICA in accordance with the instructions given by JICA. The fund allocated for the flight fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums shall not be appropriated for any other purposes.

12- 6 By the request of JICA, PIA Training Center will make available for JICA's reference all the receipts and other documentary evidence necessary to certify the expenditures stated in 12-4 above.

13. This Attached Document and the following Annexes attached hereto shall be deemed to be a part of the Record of Discussions.

ANNEX I : Tentative Curriculum of the Course

ANNEX II : Schedule of the Course Operation

ANNEX III : Tentative Estimate of Expenses

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)
 THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME (TCIP)
 REGIONAL TRAINING COURSE IN AIR TRANSPORT
 KARACHI (PAKISTAN) 1987 TRAINING PROGRAMME

Note: Session timings include discussion-period.

| WEEK : FIRST | | FROM : | | TO : | | |
|---|--|--------|---|-----------------------|--|---|
| DAY | SESSION | BREAK | SESSION | BREAK | SESSION | FILM |
| ONE | SESSION ONE 0920 AM TO 1020 AM | 20 MIN | SESSION TWO 1040 TO 1200 NOON | LUNCH BREAK 1 hour | SESSION THREE 0200 PM TO 0320 PM | SESSION FOUR 0340 PM TO 0500 PM |
| | | | | | | FILM AVP |
| REGISTRATION, INAUGURATION, AND TRAINEES' FAMILIARIZATION*, DAY | | | | | | |
| TWO | T-1 The aircraft, aerodynamic design, and propulsion. | | G-1 History of Air Transport and significant recent developments, including past and present aircraft types. | | L-1 Air Transport Regulations & Control: international/national, traditional structures & recent developments. | T-3* History of Air Traffic Service (FIS, and Alerting Service) |
| | | | | | | FILM "The Crowded Sky" - 34 |
| THREE | T-2 Flight management, avionics, and navigational aids. | | G-2 The current Airline Industry Scene. | | L-2 The Doctrine of National Airspace: The Chicago Convention; Multilateral and Bilateral Air Service Agreements. | T-4* Aerodrome Control Service, Approach Control Service. |
| | | | | | | FILM "ATC" - 31 |
| FOUR | T-5* Area control service, Air Traffic Advisory service. | | XT-1 An overview of Airline Technical Operations. | | XL-2 Unlawful interference in civil aviation operations. | G-3 Automation in Airline Industry. |
| | | | | | | FILM "IFR VFR" - 35 "Separation of Aircraft" - 15 |
| FIVE | L-4 Legal Aspects of Accident Investigation and air safety. | | T-6* Airspace Organization, ATS Route, Flight Procedures, Aeronautical Information Service | | E-1 Air Transport Demand schedule and its forecasting. | Conducted Study - visit to Karachi Airport, Tower, Radar, and Aeronautical Information Service. |
| | | | | | | FILM |
| SIX For Visit | (Friday) | | | | | |
| OFF | (Saturday) | | | | | |
| Local Sight-seeing Program | | | | | | |

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)
 THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME (TC3P)
 REGIONAL TRAINING COURSE IN AIR TRANSPORT
 KARACHI (PAKISTAN) 1987 TRAINING PROGRAMME

No. 2

Note : Session timings include discussion period.

| WEEK : SECOND | | FROM : | | | | TO : | | | | |
|--------------------|--|--------|--|---------------------------|-------------|---|--------|---|---------------------------|--|
| DAY | SESSION ONE | BREAK | SESSION TWO | FILM AVP | LUNCH BREAK | SESSION THREE | BREAK | SESSION FOUR | FILM AVP | |
| ONE (Sunday) | 0920 AM TO 1020 AM L-3 Private rights and liabilities arising out of carriage by air and the related Conventions; Legal interest in aircraft. | 20 MIN | 1040 TO 1200 NOON M-2 Pricing the airline product and yield management. | 1200 NOON 0100 PM Film | 1 hour | 0200 PM TO 0320 PM F-1 Financial appraisal aspects of aircraft selection and fleet planning. | 20 MIN | 0340 PM TO 0500 PM Conducted Study - for tour of PIA's Computer and Data-Processing Department | 0500 PM TO 0530 PM AVP | |
| TWO (Monday) | L-4 Legal Aspects of Accident Investigation and air safety. | | M-3 Strategies for marketing the airline services. | Film | | F-2 Commercial aircraft Financing. | | Syndicate discussions relating to topics assigned to trainees' groups, at the start. | | |
| THREE (Tuesday) | E-2 Air Transport Supply Schedule, airline costs, and affecting factors. | | M-4 Management of airport services, and operations. | Film | | F-3 Airline and Airport Financing. | | Syndicate discussions relating to topics assigned to trainees' groups, at the start. | | |
| FOUR Wednesday | E-3 Aircraft selection, and fleet planning, technical and economic aspects. | | XM-1 Managing an Airline in 80's. | Film | | F-4 Airline budgeting, accounting and financial reporting; airline insurance. | | XF-1 Financial techniques in transport, with special emphasis on auditing. | Film | |
| FIVE (Thursday) | E-4 Airport Economics. | | G-4 Future developments in Air Transport. | Film | | M-1 Airline organization and human resources; structures; training, | | XF-2 IATA Clearing House. | Film | |
| SIX For Visit | (Friday) | | Local Sight-seeing Visit to Moenjodaro (Archaeological Sites) | | | | | | | |
| OFF | (Saturday) | | | | | | | | | |

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)
THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME (TCPT)
REGIONAL TRAINING COURSE IN AIR TRANSPORT
KARACHI (PAKISTAN) 1987

No. 3

Note : Session timings include discussion-period.

| WEEK : THIRD | | FROM : | | | | | | TO : | |
|--------------------|--|--------|---|-------------------|----------------|---|--------|--|--------------------|
| DAY | SESSION ONE | BREAK | SESSION TWO | FILM AVP | LUNCH BREAK | SESSION THREE | BREAK | SESSION FOUR | FILM AVP |
| ONE (Sunday) | 0920 AM TO 1020 AM XG-1 Domestic Air Transport in a country, and the impact on it of possible competition. | 20 MIN | 1040 TO 1200 NOON Conducted Study - tour of PIA's Engineering and Maintenance Facilities. | 1200 NOON 0100 PM | 1 hour | 0200 PM TO 0320 PM XE-1 The World Economic Scene in the context of the evolution of Airline Industry. | 20 MIN | 0340 PM TO 0500 PM Syndicate Discussions | 0500 PM TO 0530 PM |
| TWO (Monday) | XG-2 Interface of Air Transport with other transport modes (sea, rail, road etc) and terminals. | | Conducted Study - tour of The three Air Terminals at Karachi Airport, computer, Facilitation, & Operational facilities. | | | XE-2 Airline Market Research and Planning with special attention to the role of Travel Agents and Cargo Agents/Forwarders. | | Syndicate Discussions | |
| THREE (Tuesday) | XT-2 Effect of the nature of Medium on Air Transport Operations. | | XL-1 IATA and ICAD their functions and roles. | Film | | Syndicate Discussions | | Final preparation by the trainees, of their group - discussion - papers for their presentation during - Dissertation | |
| FOUR Wednesday | DAYS RESERVED FOR UP-COUNTRY PROGRAMS : | | | | | | | | |
| FIVE (Thursday) | (I) Study - visit to the Civil Aviation Training Institute (CATT) at HYDERABAD (II) Lahore - Allama-Jabal/Shalamar (III) Islamabad - Shakar-paarian/Rawal Dam/(possibly) Murree then Return to Karachi | | | | | | | | |
| SIX For Visit | (Friday) | | | | | | | | |
| OFF | (Saturday) | | | | | | | | |

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)
THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME (TCP)
REGIONAL TRAINING COURSE IN AIR TRANSPORT
KARACHI (PAKISTAN) 1987 TRAINING PROGRAMME

No. 4

Note : Session timings include discussion-period.

| WEEK : FOURTH | | FROM : | | | | TO : | | | |
|--------------------|--|--------|-------------------|--------------------|----------------|--------------------|--------|--------------------|--------------------|
| DAY | SESSION ONE | BREAK | SESSION TWO | FILM AVP | LUNCH BREAK | SESSION THREE | BREAK | SESSION FOUR | FILM AVP |
| ONE (Sunday) | 0920 AM TO 1020 AM | 20 MIN | 1040 TO 1200 NOON | 1200 NOON, 0100 PM | 1 hour | 0200 PM TO 0320 PM | 20 MIN | 0340 PM TO 0500 PM | 0500 PM TO 0530 PM |
| | Dissertation of Group - studies (by G - leaders) | | | | | | | | |
| TWO (Monday) | " Course - Critique " by individual trainees | | | | | | | | |
| THREE (Tuesday) | CLOSING NOTE by Chief of Planning Commission Government of Pakistan Karachi Harbour Cruise to be arranged (if possible) through CIT / MPT / PMSO. | | | | | | | | |
| FOUR Wednesday | <u>CERTIFICATION CEREMONIES</u> AT PIA TRAINING CENTRE | | | | | | | | |
| FIVE (Thursday) | <u>DISPERSAL</u> . . . " <u>BON VOYAGE</u> " | | | | | | | | |
| SIX for Visit | (Friday) | | | | | | | | |
| OFF | (Saturday) | | | | | | | | |

ANNEX II

SCHEDULE OF COURSE OPERATION

| MONTH | PAKISTANI SIDE | JAPANESE SIDE |
|-------------------|--|---|
| Middle January | <ol style="list-style-type: none"> 1. Signing of Record of Discussions 2. Preparation of G.I. 3. Submission of Form A-1 | <ol style="list-style-type: none"> 1. Signing of Record of Discussions 2. Recruitment of Expert |
| Middle February | <ol style="list-style-type: none"> 1. Distribution of G.I. & Application Form | |
| Middle March | <ol style="list-style-type: none"> 1. Opening of Bank Account 2. Submission of Bill of Estimate 3. Receipt of Application Forms | <ol style="list-style-type: none"> 1. Submission of Form B-1 |
| Middle June | <ol style="list-style-type: none"> 1. Notification of the Selection of the Participants | <ol style="list-style-type: none"> 1. Remittance of Expense |
| November-December | <ol style="list-style-type: none"> 1. Implementation of Course | <ol style="list-style-type: none"> 1. Dispatch of Expert |
| Middle December | <ol style="list-style-type: none"> 1. Submission of Statement of Expenditures 2. Submission of Course Report | |

ANNEXIII

TENTATIVE ESTIMATE OF EXPENSES TO BE BORNE BY JICA

| Item of Expenses | Breakdown | Amount |
|------------------------------------|---|--------------------|
| I. INVITATION EXPENSES | | |
| 1. Airtickets(round trip) | 1. @ US\$ 649 × 16(p) = US\$ 10,384 | US\$ 10,384 |
| 2. Per-diem | 2. @ US\$ 23/D × 28(d) × 16(p) = US\$ 10,304 | US\$ 10,304 |
| 3. Accomodation | 3. @ US\$ 31/D × 28(d) × 16(p) = US\$ 13,888 | US\$ 13,888 |
| SUB TOTAL | | US\$ 34,576 |
| II. TRAINING EXPENSES | | |
| 1. Honoraria for external lecturer | 1. = US\$ 633 ① Transportation (From Quetta) @ US\$ 100/p × 1(p) = US\$ 100 ② Per-diem @ US\$ 23/D × 6(d) = US\$ 138 ③ Accomodation @ US\$ 31/D × 5(d) = US\$ 155 ④ Honoraria @ US\$ 30/H × 8(h) = US\$ 240 | US\$ 633 |
| 2. Transportation (For Study Tour) | 2. = US\$ 170 ① KARACHI ~ Civil Aviation Authority @ US\$ 25 × 1 ② KARACHI ~ Booking Office @ US\$ 25 × 1 ③ KARACHI × HIDERABAD (ICAO OFFICE) @ US\$ 120 × 1 | US\$ 170 |
| 3. Material | 3. = US\$ 550 ① Binding charges @ US\$ 3.75 × 40(p) = US\$ 150- ② Folders @ US\$ 1.0 × 40(p) = US\$ 400- | US\$ 550 |
| 4. Text book | 4. = US\$ 5,450 ① Lecture note & hand-out @ US\$ 5 × (90,000 ÷ 1,000) = US\$ 450 ② Text book (For Reference) @ US\$ 20 × 250(b) = US\$ 5,000 | US\$ 5,450 |
| 5. Employment fee | 5. = US\$ 3,400 ① Course Cordinator @ US\$ 600/M × 4(m) = US\$ 2,400 ② Stenotypist @ US\$ 250/M × 2(m) × 2(p) = US\$ 1,000 | US\$ 3,400 |
| 6. Miscilenous Expenses | 6. = US\$ 1,200 ① Welcome party & Farewell Party @ US\$ 475 × 2(t) = US\$ 950 ② Printing of G.I. & Certificate @ US\$ 250 | US\$ 1,200 |
| SUB TOTAL | | US\$ 11,403 |
| GRAND TOTAL | | US\$ 45,979 |

JICA